

アルコムが提案するリスクマネジメント

塾の教室にカメラを設置し 講師の性犯罪・加害対策を



塾の元講師が在職中に教え子にわいせつな言動をさせたうえ盗撮した疑いで警視庁に逮捕されたニュースを覚えている方もいらっしゃるのではないでしょうか。昨今は、首都圏を中心に同様の事件を防ぐため複数の塾が対策に乗り出しています。すぐ実施できる防止策として塾の教室へスマホなどの写真・動画撮影ができる機器の持ち込みを禁止を開始した塾もありますが、犯罪を行う者がそのルールを守るとは限りません。塾へ通わせる保護者への説明・安心のためにもリアルタイム確認、映像の配信や記録ができる防犯カメラが最適です。



主な学習塾の性犯罪防止の取り組み

四谷大塚	家庭から教室内の映像を確認できるシステムを導入へ
早稲田アカデミー	録画できる防犯カメラを全教室に設置する方針
サピックス小学部	多くの教室にカメラがあり、受付のモニターで随時確認
栄光ゼミナール	採用試験で適性検査をし、入社時に制約文書
日能研	防犯カメラを全教室に設置。コンプライアンス研修も

全国 268 教室に約 3 万 3 千人が通う東京個別指導学院は、パートやアルバイトの講師が約 1 万 1 千人いて、9 割ほどが大学生と大学院生だそうです。社員が教室内を頻繁に巡視していても通知や会議で、この巡視の強化も求めた保護者も多いそうです。

危険のある人物を採用段階で見きわめるのは難しいです。採用後も、管理者・保護者・子どもが安心できる環境のために、防犯カメラを検討しませんか？

子ども・保護者が安心できる塾経営のためにも 防犯カメラを設置し、リスクマネジメントを行うのが必要です

子どもと保護者に安心してもらえる 塾経営をしませんか？



塾で賠償になりうる事故の例

経営者側の賠償責任が問われるのは、「所有・使用・管理する塾の施設の不備が原因で生じた事故」と「塾の業務遂行に起因する偶然な事故」などです。下表では、雇用慣行に関連する賠償事故の例をご紹介します。



塾の防火体制の不備により火災が発生し、
講師の誘導ミスで生徒にケガを負わせてしまった。



塾の廊下の床が濡れており、
生徒 / 親が転倒しケガを負わせてしまった。

防犯カメラで証拠の記録



子ども同士でイジメが起きていないか、講師がセクハラや加害をしていないかなどをマイク付き監視カメラで撮影・録音する事でものの対策を行えます。

防犯カメラの抑止効果



カメラが設置されていることを知っている人々は、カメラの前で不適切な行動をとることを避けるので、抑止効果があります。また、防犯カメラの録画映像は鮮明に撮影し、日時も正確でなため、証拠としてもとても有効的です。